

【教員氏名】

塚田 鉄也
研究室:聖アンデレ館 8 階 810 号室
メールアドレス:

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

国際社会はしばしば、国内社会と比べて変化に乏しいといわれます。実際、近代になってヨーロッパで形成された国際政治の基本的な枠組みは、現在もその特徴の多くを留めています。しかし他方では、特に 20 世紀半ば以降、そうした伝統的な国際政治の枠組みにはおさまらない様々な変化も生じています。本講義では、こうした国際社会の持続と変化に注目しながら、近代以降の国際政治の歴史を考察していきます。

【学習目標】

- ①国際政治がどのような基本的特徴を有しているのかを理解する
- ②そうした基本的特徴が、どのように形成され、どのように持続・変化してきたかを理解する

【講義計画】

- 第 1 回:国際政治史を学ぶ意義
- 第 2 回:国際政治の基本構造
- 第 3 回:国際政治の理論
- 第 4 回:16 世紀のヨーロッパ
- 第 5 回:三十年戦争とウェストファリア体制
- 第 6 回:勢力均衡の時代①:同盟の論理
- 第 7 回:勢力均衡の時代②:小国の運命
- 第 8 回:革命の時代
- 第 9 回:ウィーン体制の形成と展開
- 第 10 回:パクス・ブリタニカ
- 第 11 回:新たな勢力の登場①:ドイツ
- 第 12 回:新たな勢力の登場②:アメリカ、イタリア、日本
- 第 13 回:帝国主義の時代①:帝国主義の諸相
- 第 14 回:帝国主義の時代②:大国間関係
- 第 15 回:第一次世界大戦
- 第 16 回:パリ講和会議
- 第 17 回:ロシア革命
- 第 18 回:1920 年代の国際関係
- 第 19 回:1930 年代の国際関係
- 第 20 回:第二次世界大戦
- 第 21 回:戦後秩序の模索
- 第 22 回:冷戦時代①:起源
- 第 23 回:冷戦時代②:展開
- 第 24 回:冷戦時代③:終結
- 第 25 回:パクス・アメリカーナ
- 第 26 回:ヨーロッパ統合の歴史
- 第 27 回:脱植民地化の展開
- 第 28 回:冷戦後の国際関係
- 第 29 回:21 世紀の国際関係
- 第 30 回:まとめ

【成績評価の方法】

試験評価:100% レポート:0% 出席:0%

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

全体に関連するものは初回の授業で、個々のテーマに関連するものは各回の授業で紹介いたします。

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】

国際政治史を理解するには、世界史の知識が不可欠です。高校で世界史を履修していない場合は、簡単な入門書等(初回の授業で紹介)を授業と並行して読み進めてください。

【その他備考(担当教員用)】**【備考(管理者用)】**